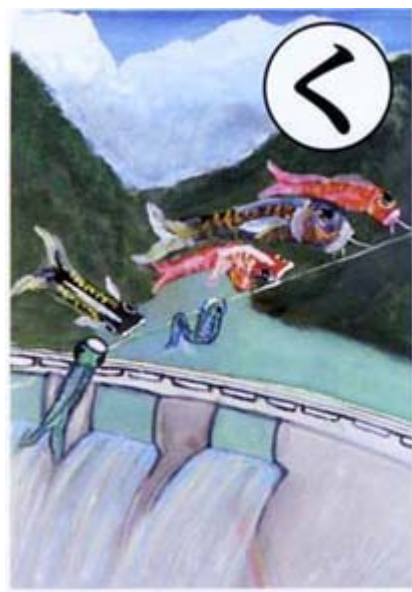
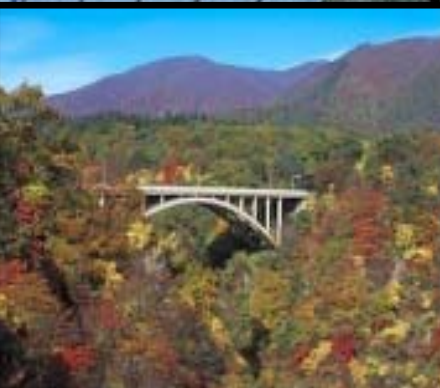


鳴子ダム水源地域ビジョン

第1回専門検討会資料

平成17年7月29日（金）

資料 - 6 第3回策定委員会の概要



く
薫風くんぷうに
鯉こいのぼり舞う
鳴子ダム



く
【薫風くんぷうに
鯉こいのぼり舞う 鳴子ダム】
日本人の手によって出来た国内最初の
アーチ式ダム。昭和三十二年の完成以来、
洪水の心配は全くなかった。観光スポ
ットとしてもすばらしい。上流には『荒
雄湖畔公園』が整備され、様々なイベン
トで賑にぎわっている。

鳴子ダム水源地域ビジョン第3回策定委員会の概要

平成17年5月31日(火)、ホテルオニコウベで、鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第3回)が、策定委員21名の参加の下で開催されました。

1. 第3回策定委員会の概要

(1) 策定委員会

1) 日 時:平成17年5月31日(火)10:00～13:00

2) 場 所:ホテルオニコウベ

3) 参加者:21名

(2) 現地見学

1) 日 時:平成17年5月31日(火)13:40～16:20

2) コース:ホテルオニコウベ～キツネ森～やまが旬の市～鬼首中学校～鬼首幹集落センター～荒雄湖畔公園～鳴子ダム(堤内)～ホテル荒雄湖畔公園～鳴子ダムまでダム管理所の巡視船で移動しました。(5人)

3) 参加者:10名

2. 議事の概要(各委員の発言の要旨)

委員のみなさまからご発言いただいたご意見を、水源地域のありようなど、項目別に整理すると、以下のとおりです。

地域活動の状況

協力・協賛(鳴子町、やまが旬の市、鳴子ダム管理所)のもと、フィッシングジャンボリー・イン・オニコウベを開催できた。イベントは大人から子供まで好評(イワナつかみ取り、湖水クルージング)で、参加者にゴミ拾いもしてもらった。

地域活動者の計画

スローライフ「夏編」を計画。温泉街、森、川をステージにイベントを計画。ダム付近でのコンサート開催も検討している。

潜在する資源をうまくいかす

スキーに行く(スキー主体)と温泉につかりスキーにも行ける(温泉主体)など来訪者のニーズをうまくつかむ。ダムも地域活動も風土も資源であり、これらをうまく見せ、今の取り組みをふくらませていく。あるがままの姿を磨く。

地域活動の課題

リーダーに地域活動が委ねられている。

行動費の捻出(参加料からの運営)。

企画立案、プログラム展開、広報など、さまざま分野での連携のしくみがやや低い。

インストラクターなど人材がなかなか集まらない。

地域の方々が地域活動に参加していく仕組みや体制をつくる。

地域情報の共有、地域からの情報発信・地域への情報発信

インターネット各サイト間のリンクにより情報を共有して発信していく。

インストラクターなどを人材バンクに登録する。

「水源地域ビジョン」というポータルサイトを作り総合的に情報を共有し発信する。

テレビ、新聞などさまざまなメディアでの情報発信する。

地域の方々にうまく情報を伝達する。

インターネットや各種情報媒体に頼らない人と人の交流も大事である。

“鳴子ビード”による「よさこい」などでの宣伝も連携につながっていく。

来訪者へのサービス提供

ツアーデスクや、コンシェルジュによるガイド案内。駅など主要地点からの情報発信する(構えがあるだけでは機能が低い)。

旅館・ホテルとグリーンツーリズム活動の相互連携が必要。

グリーンツーリズムのサービス提供と地域経済(地域がうるおう)の仕組みを検討。ボランティア活動と事業活動の識別。

来訪者へのサービスの維持が必要。

商品化という引き出しを一杯持って、お客さんに約束したサービスを提供する。

地域のウリをつくらう

食材を活用して鳴子ならではのブランドを展開。品質を保証する。

旅館と農業(地元産物の食材化)などにより両者の関係をつくる。来訪者に地元食材を提供する。

心あたたまるおもてなしでリピーターをつかまえる。

温泉のブランドではなく地域のイメージをウリにしていく。

鳴子ダム水源地域ビジョン第3回策定委員会の概要

鳴子ダム水源地域ビジョンの目標や展開(交流や連携)

水、川、ダム、水源地域での生活など、本来の水源地域のあり方もビジョンに取り込んでいく。

ビジョンづくりは、鳴子町がコアとなり、鳴子ダムと江合川流域とのつながりで、合併を契機に盛りたてていく。

合併を契機に観光地間の連携も必要である。

鳴子町内の地域活動や事業活動をうまく連携させ、将来の地域像を見すえ、鳴子町、大崎市、下流域と広がりを持たせるビジョンづくりが必要である。

来訪者との交流するスタイルを観光的な視点でとらえ、ものごとに取り組んでいく。

水源地域の自治や社会活動の維持。高齢化や過疎化への対応が必要である。

鬼首 古川の交流(買い物なども含む)は多いが古川 鬼首の交流は少ないので、相互の交流をつくれないうか。

鳴子ダム水源地域ビジョンづくりを新聞やテレビ番組で報道してもらい、広くPRしていく。

水源地域(鳴子町)は地域活動や資源が豊富なことによりビジョンの方向性はみえてきたが、中下流とのかかわりや、つながりを示していく必要がある。

ダムがなかった時の状況を下流地域に説明する場を計画しており、そのような活動を行いながらビジョンづくりを下流から応援していきたい。

水源地域の原風景の維持

国道沿いの標識や看板などのサインを統一(色彩・形状など)する。

川やダムのことを知る環境づくり(川に親しむなど)を行う。

今後の委員会運営

鳴子町在住の委員を中心に専門委員会を設置し、地域活動や、連携交流の方向性を検討していく。

鳴子ダム 水源地域ビジョン

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所



水源地域ビジョンとは

従来、ダムは、治水、利水等、主に下流地域の国土保全、国民生活の安定、産業経済の発展のために供されてきました。
21世紀においては、これらのダムの効果に加えて、ダム及び水源地域の豊かな自然、文化等を活用した地域の振興、及び、バランスのとれた流域の発展を図ることにより、21世紀のランドデザインの一部として機能することが期待されます。
このため、国土交通省では、直轄ダム、水資源開発公団ダムについて、地域ごとに、ダム水源地域の自治体等と共同で、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとしました。

鳴子まちづくりかわら版

鳴子ダムでは、水源地域ビジョンを身近に感じていただくために、随時、かわら版を発行することといたしました。最新のニュースを発信いたします。



←左の画像をクリックすると最新のかわら版をみる事が出来ます

かわら版 No.4 裏 かわら版 No.4 表 過去のかわら版
No.1 No.2 No.3(1) No.3(2)

新 着 信 報

鳴子まちづくりニュース(No.4)を発行しました (06/07/05)
鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第3回)が行われました (05/05/31)

鳴子ダム管理所TOPへ

ご意見はこちらにお知らせします
nakuzi@tr.mlit.go.jp

鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
国土交通省東北地方整備局鳴子ダム管理所
〒989-6806
宮城県玉造郡鳴子町字岩沢2-9
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

鳴子まちづくりかわら版(鳴子ダム水源地域ビジョンニュース)

鳴子まちづくりかわら版 No.4 (2005.6.13)

鳴子ダム水源地域ビジョンニュース
鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
国土交通省東北地方整備局鳴子ダム管理所
〒989-6806
宮城県玉造郡鳴子町岩淵2-8
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855
編集担当 (管理係) 小原 大滝

第3回鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会 で活発な討議

【概要】
日時:平成17年5月31日(水)10:00~13:00
場所:ホテルオニコウベ
出席委員:21名
はじめに、事務局より第2回策定委員会後の経過報告がありました。
(かわら版発行やインターネット公開など)
次に、地域活動を実践している委員から、最近の活動状況について報告をいただきました。
さらに、鳴子ダム水源地域ビジョン策定にあたっての今後の方向性について活発な議論が行われました。
また、委員会終了後の午後は、地域活動等を行っている現地の見学を行いました。(きつね森 やまが旬の町 鬼首基幹集落センター 荒雄湖畔公園 荒雄湖 鳴子ダム堤体内部)
現地見学のようす(鳴子ダム放流バルブ)

委員から発言された意見の概要

【地域活動の状況と計画】

フィッシングジャンボリー・イン・オニコウベを5月29日に開催した。(裏面をごらん下さい)
スローライフ週間「夏編」を計画(7月下旬)している。
涌谷町内で昔の江合川の治水状況を学び合う予定をたてている。

【地域情報の共有、地域からの情報発信・地域への情報発信】

各サイト間のリンクで情報を共有。人材バンクに登録する。
「水源地域ビジョン」というポータルサイト(ホームページ)をつくる。テレビ、新聞などさまざまなメディア(情報媒体)での情報発信する。地域にうまく情報を伝達する。インターネットなどに頼らない人との交流も大事である。
“鳴子ビード”による「よさこい」などの宣伝も連携につながっていく。

【来訪者へのサービス提供】

ツアーデスク(旅行案内)や、コンシェルジュ(観光手配や案内)によるガイド。駅などから情報発信する。
旅館・ホテルとグリーンツーリズムの連携。グリーンツーリズムのサービス提供と地域経済の仕組みづくりの検討。
ボランティア活動と事業活動の識別。来訪者へのサービスの維持が必要。商品化という引き出しを一杯持つてサービスを提供する。

【地域活動の課題】

リーダーに地域活動が委ねられている。
行動費の捻出。
連携のしつこみや低い。
人材が集まらない。
地域が参加していく仕組みづくり。

地域を元気にする 地域の文化を育てる
鳴子ダム水源地域
ビジョンの方針(案)
地域を学習する 地域の環境を守る

【地域のウリをつくる】

食材を活用しブランドを展開。品質を保証。地元産物の食料化などにより観光と農業の関係をつくる。来訪者に地元食材を提供する。
心暖まるおもてなしでビーターをつかまえる。温泉のブランドより地域のイメージをリ。

【鳴子ダム水源地域ビジョンの目標や展開(交流や連携)】

水、川、ダム、生活など本来の水源地域のあり方もビジョンに取り込んでいく。
鳴子町がコアとなり、ダムと江合川流域が合併を契機に盛りたてる。広域観光の連携も必要である。

鳴子町内の地域活動や事業活動をうまく連携させ、鳴子町、大崎市、下流域と広がりを持たせるビジョンづくりが必要である。
交流を観光視点的視点でとらえ取り組む。水源地域の自治や社会活動の維持、高齢化や過疎化への対応が必要。
鬼首 古川の交流は多いが古川 鬼首の交流は少ないので、相互の交流を促す。水源地域ビジョンづくりを新聞やテレビ番組で紹介してもらい、広くPRしていく。
中下流とのつながりを示していくことが必要である。
昔の下流の水利状況を説明する場を計画しており、ビジョンづくりを応援していきたい。

【水源地域の原風景の維持】

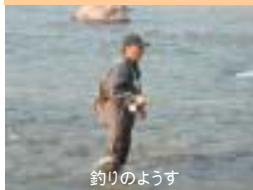
国道沿いの標識や看板などを統一(色彩形状など)する。
川やダムのことを知る環境づくりを行う。

【今後の委員会運営】

専門委員会を設置し、地域活動や、連携交流の方向性を検討する。

最近の地域活動の取り組み状況

環境にやさしい釣り大会 (荒雄湖畔公園でのイベント)



釣りのようす



やまが旬の市のようす



巡視船「あらお」に乗り込む参加者

「第2回フィッシング・ジャンボリー・イン・オニコウベ」が5月29日(日)鳴子町鬼首の江合川(荒雄川)で開催されました。
このイベントは、川釣りを通じて、河川環境、資源保全、河川教育など地域と親睦を図り、河川環境を考えることを目的として、鳴子漁業協同組合(以下「漁協」)の主催のもと開催されました。
宮城県内のほか、関東圏からも多数の釣り愛好家とその家族が訪れました。参加者は魚を釣り上げる際、魚を弱らせないように手を水で冷やしてからそっとつかむなど、自然との共生を心掛けながら川釣りを楽しみました。

イベントの概要は以下の通りでした。
キャッチ&リリース区間内(荒雄湖畔公園付近から上流の3.5km)限定フィッシング大会
深流魚一般放流体験(約二百匹のイワナを放流)
釣り人による河川清掃ごみ拾い(河川敷きに落ちたごみの清掃作業も取り組みました。)
深流魚イワナの釣り堀(小学生まで)
鳴子ダム管理所の巡視船「あらお」によるクルージング(湖面巡視パトロール)
漁協と鳴子ダム管理所が協力し荒雄湖クルージング体験を行いました。湖畔公園の貯砂ダム付近を臨時船着場とし、湖中ほどの吊り橋(矢橋橋)付近まで約20分かけて6往復しました。地元の小中学生を中心とした約50人の参加者は、普段なかなか見ることのできないダム湖の内側からの素晴らしい景色や、ヤマセミの巣穴に、驚いている様子でした。

このイベントでは、漁協をはじめ、鳴子町役場、やまが旬の市など、鳴子ダム水源地域の活性化に関わる、さまざまな方々の連携のもと行われ、また、釣り人のみならず、ご家族連れなど、いろいろな方々に楽しんでいただけるようなものとして企画しました。来年も継続的に行っていきたくと考えています。(鳴子漁業協同組合 高橋義雄)

江合川流域のイベント予定

「森と湖に親しむ旬間
(毎年7月21日~31日)」イベント
あつまれ! 鳴子ダム2005

日時:7月30日(土)9:30~15:00
場所:荒雄湖畔公園
内容:ダム内部見学
荒雄湖巡視
森林教室
紙すき体験
いかだ体験
イワナのつかみ取り など

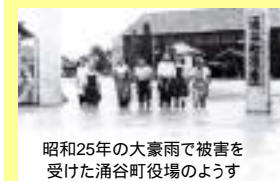
「昔の江合川の水利」を聞く会
すばらしい涌谷を創る協議会(鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員の古澤勝郎さん)が、8月25日(木)に涌谷町にて、町民のついで(昔の江合川の水利について)を開催します。
鳴子ダムがまだできなかった頃の涌谷町の水利について、元涌谷町長の大平徳弘さんから、お話しをしていただきます。
日時:8月25日(木)11:00~
場所:涌谷町役場
主催:すばらしい涌谷を創る協議会
講演:大平徳弘さん(元涌谷町長)

ご意見をお待ちしています

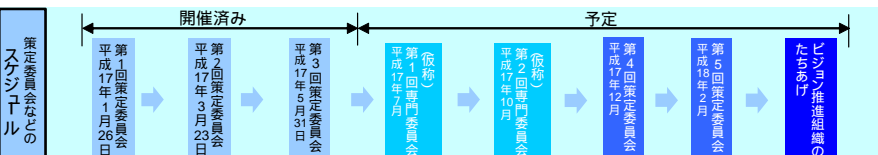
鳴子ダム水源地域の鳴子町のみならず、江合川流域に広がる大崎地域のみなさんが「元気」になるご意見やアイデアを募集しています。以下のいずれかの方法で鳴子ダム管理所までお寄せ下さい。

インターネット
<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko>
電子メール
naruko@thr.mlit.go.jp
FAX
0229-83-3855
郵送
〒989-6806
宮城県玉造郡鳴子町岩淵2-8
鳴子ダム管理所
(担当)管理係 小原・大滝

鳴子牛COWニバル
日時:7月31日(日)9:00~
場所:オニコウベスキー場
内容:野外焼肉大パーティー、
みちの(YOSAKOI)おどり
イワナつかみ取り大会
大抽選会 など



昭和25年の大豪雨で被害を受けた涌谷町役場のようす



鳴子まちづくりかわら版(鳴子ダム水源地域ビジョンニュース)配布先(1)

1. 鳴子町全戸(約3,300世帯)
2. 江合川鳴子ダム放流通報連絡会(35団体)
 - 宮城県古川産業振興事務所
 - 宮城県古川土木事務所
 - 宮城県大崎地方ダム総合事務所
 - 古川市交通防災課、鳴子町総務課、岩出山町総務課
 - 小牛田町総務課、田尻町総務課、涌谷町総務課
 - 河南町総務課、鳴子町教育委員会
 - 大崎地域広域行政事務組合 消防本部
 - 石巻地区広域行政事務組合 消防本部
 - 大崎地域広域行政事務組合 鳴子消防署
 - 大崎地域広域行政事務組合 古川消防署
 - 大崎地域広域行政事務組合 涌谷消防署
 - 石巻地区広域行政事務組合 矢本消防署
 - 宮城県鳴子警察署
 - 宮城県古川警察署
 - 宮城県小牛田警察署
 - 宮城県涌谷警察署
 - 宮城県石巻警察署
 - 東日本旅客鉄道(株)仙台支店小牛田保線区
 - 桃生町総務課
 - 三本木町総務課
 - 松山町総務課
 - 鹿島台町総務課
 - 鳴瀬町総務課
 - 南郷町住民課
 - 松島町環境防災班
 - 東北電力(株)古川技術センター
 - 北上下流河川事務所
 - 北上下流河川事務所 大崎出張所
 - 北上下流河川事務所 涌谷出張所
3. 地域活動団体(江合川流域市町)(85団体)
 - 特定非営利活動法人ひたかみ水の里
 - 特定非営利活動法人オープンハート・あったか
 - 特定非営利活動法人蕪栗ぬまっこくらぶ
 - 特定非営利活動法人がんばれネット
 - 特定非営利活動法人宮城まちづくり協議会
 - 特定非営利活動法人地域文化研究所小牛田セミナー
 - 特定非営利活動法人いしのまきNPOセンター
 - 特定非営利活動法人地域文化創成社爽風白露
 - 特定非営利活動法人ひょっこりひょうたん田代島
 - 特定非営利活動法人パートナーシップ古川
 - 特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター
 - 特定非営利活動法人北上川・水の輝き
 - 特定非営利活動法人TERAKOYA
 - 大崎コミュニティカレッジ
 - 大崎風土耕舎
 - 音楽ボランティアグループ「やさい畑」
 - 子育て支援 ふるかわおひさまの会
 - 子どもの明日を考える会
 - (社)古川青年会議所
 - 煎茶道清泉幽茗流清泉会古川支部
 - 西古川共栄会
 - P・A技術者協議会
 - 古川生き活きまちづくり21委員会
 - 古川子ども劇場
 - 古川市国際交流協会
 - 古川市地域婦人団体連絡協議会
 - 古川市リサイクルデザイン工房友の会
 - 古川の街づくりをすすめる女性の会
 - ふるかわ平和のつどい
 - ボタン・クラブ

鳴子まちづくりかわら版(鳴子ダム水源地域ビジョンニュース)配布先(2)

保柳神楽保存会
岩出山町菊花愛好会
岩出山町ボランティアガイドの会
ボランティアグループ「スコール」
有備会
カムロ企画
縄文音楽集団「鬼」
鳴子町石の梅まちづくり創造研究会 鳴子・楽郷の会
東鳴子ゆめ会議
あるグループ
写真クラブ涌谷フォート
涌谷町健康推進員協議会
涌谷町に桜の木を増す会
国際田園研究所
田尻郷土研究会
田尻町グリーンツーリズム委員会
塩土老翁グループ
小牛田混声合唱団
小牛田町バイテク研究会
小牛田町無名会
小牛田和太鼓江鳴会
創作和太鼓駒の会
遠田地区更生保護婦人連絡協議会
特定非営利活動法人みやぎボクシングクラブ
21石会
石巻駅前親交会婦人部
石巻日高見太鼓
渡波水曜会
渡波生活学校
劇団「夢回帰船」
(社団)石巻青年会議所

石巻市町内会連合会婦人部会
石巻市地域婦人団体連絡協議会
湊をみんなで考える会
石巻圏まちづくりデザイン会議
母なる北上川を愛する女性の会
ひたかみ水の里
みやぎヒューマンライフ石巻ブロック会
河南鹿嶋ばやし保存会
和瀨青年商工会
河南町農業研究団体連絡協議会
河南町まちづくりの会みずすまし
桃生町文化協会
桃生町婦人団体連絡協議会
d. ARTS
いしのまきNPOセンター
石巻千石船の会
石巻若宮丸漂流民の会
明るい社会づくり運動石巻地区推進協議会
朗読ボランティアグループまいまい
LITTLEWAVEF
ケア・サポートぬくもり
NPOスマートシニアいしのまき
まんぼう画会
水と緑の環境フォーラム・ものう